

ヒマラヤの裏側マナン村からアンナプルナ連峰を仰ぎ見る

絶景のマナン村ゆったり滞在 トレッキング 11日間

発着地 東京・大阪・名古屋・福岡

ポカラからアンナプルナ連峰までの直線距離が約35kmなのに対して、裏側のマナンからはわずか約10kmという近さ。雪山が頭上に迫ります。マナスル山群とアンナプルナ連峰の間を飛び山岳飛行もダイナミック。

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 ホテル ロッジ

出発日～帰国日	旅行代金
3 / 27(火)～ 4 / 6(金)	¥426,000

- 燃油サーチャージ(2011年7月20日現在:目安約18,000～46,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ:ネパール/ビザ申請料金約7,200円(2011年7月/手数料・消費税込み)が別途必要です。
- 利用予定航空会社:タイ国際航空、シンガポール航空、エアインディア、大韓航空、キャセイパシフィック航空、ドラゴン航空、中国国際航空
- ツアーリーダー:カトマンズからカトマンズまで同行します。添乗員は同行しませんが、発着地によってはツアーリーダーが全行程同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝9回、昼5回、夕5回
- 利用予定ホテル:Aクラス以上。P.25掲載の利用予定ホテルリストをご参照ください。
- トレッキング:現地ガイド、コック、ポーターが同行
- 一人部屋利用追加料金:¥34,000(ロッジ泊も含む)
- 行動範囲:3,332m～3,800m。最高宿泊地3,540m。高山病の影響多少あり。

アンナプルナ連峰の北面、マナン盆地へ

ポカラからのアンナプルナ連峰南面の眺めは有名ですが、その向こう側(北面)には、よりアルペン的で、向こうよりミステリアスな世界、マナン盆地が広がっています。ヒマラヤ主山脈の北側に位置するため、大渓谷に沿ってのトレッキングを必要とする辺境の地です。しかし、このツアーは、空路、特別運行便(チャーター機)を使って空路、一気にマナン盆地へ飛ぶことにより、従来は考えられなかった短期間のうちに、魅力的なマナン盆地のハイライトを楽しもうという、新しいか

たちの画期的な山旅です。マナンからは、至近距離から迫力あるアンナプルナ山群を堪能できます。マナンへのフライトルートは、マルジャンディ大渓谷に沿ってアンナプルナ連峰とマナスル連峰というふたつの8,000m級山群の間を飛びぬけるルートですので、マナンの往復のフライトそれ自体がダイナミックで迫力に満ちた素晴らしいマウンテンフライト(山岳遊覧飛行)であり、この旅の大きな魅力のひとつとなっています。



▲マナン村上部からの迫力あるガンガプルナ峰(7,455m)



▲アンナプルナIV峰(7,525m)を眺めながら進む



▲マナン盆地はチベット仏教徒が多い

日程	発着地	スケジュール
1	各地 発着 東南アジア経由地着	午前、東京・大阪・名古屋・福岡発▶東南アジア経由地へ。 (機) 東南アジア経由地泊 (H)
2	東南アジア経由地発 カトマンズ 着	午前、東南アジア経由地発、ネパールの首都カトマンズへ。 (朝機) カトマンズ泊 (H)
3	カトマンズ フムデ 発着	▶朝、特別運行の小型飛行機で、マナスル山群とアンナプルナ山群の間を飛び、マナン谷の滑走路のあるフムデ(3,332m)へ。8,000m級のふたつの山群の間をぬって飛ぶ迫力ある雄大なフライトです。着後、高度順応のために休養または周辺散策などを楽しまします。 (朝機) フムデ泊 (L)
4	フムデ 滞在	フライト予備日。又は、▶フムデ周辺ハイキング。周辺には圧倒的迫力でアンナプルナII峰、IV峰が至近距離で聳え立ちます。 (朝機) フムデ泊 (L)
5	フムデ マナン 発着	▶午前、トレッキング開始。フムデからゴンパのあるブラガを経由し、マナン(3,540m)へ。(徒歩約3時間)マナン村まではほぼ平坦で広い道での快適なトレッキングになります。着後、マナン村のすぐそばにあるガンガプルナ峰からの氷河が落ち込む湖まで往復します。マナン村からは至近距離からアンナプルナ連峰(アンナプルナII峰、III峰、IV峰、ティリツツオピーク、ピサンピーク)の絶景が広がります。とくにガンガプルナはアイスフォールをはじめ大迫力の展望が広がります。 (朝機) マナン泊 (L)
6	マナン 滞在	終日マナン滞在。▶マナン村背後の丘上部にあるゴンパ付近(3,800m)を往復します。ゴンパ付近からは、ガンガプルナ峰、アンナプルナIII峰、ティリツツオピーク、グレーシャードーム、ロックノールなど、7,000m峰が真近に7座見ることが出来る絶景の展望地です。 (朝機) マナン泊 (L)
7	マナン フムデ 発着	マナンからフムデへ戻ります。 (朝機) フムデ泊 (L)
8	フムデ カトマンズ 発着	▶朝、特別運行の小型飛行機で空路、カトマンズへ。着後、ホテルへ。 (朝機) カトマンズ泊 (H)
9	カトマンズ 滞在	カトマンズ滞在。終日、自由行動。マウンテンフライトや市内観光などのオプションツアーをお楽しみください。 (朝機) カトマンズ泊 (H)
10	カトマンズ 東南アジア経由地 発/発	午後、カトマンズ発▶東南アジア経由地で乗り継いで、帰国の途へ。機中泊。(出発日、発着地、利用航空便によっては東南アジア経由地泊) (朝機) 機中泊または東南アジア経由地泊(機)又は(H)
11	各地 着	朝、東京・大阪・名古屋・福岡着。(出発日、発着地、利用航空便によっては朝、東南アジア経由地発、午前、各地着。) (機)

※カトマンズ/フムデ間のフライトは8,000m峰の間を飛び山岳飛行便となります。天候条件や機材その他の現地事情により、予定通りに飛べないことがあります。そのため、入山が遅れる場合には滞在日程を縮小する場合があります。下山が遅れる場合には帰国に遅延が生じる場合があります。また前述の理由により軽飛行機の運行が難しく、ヘリコプター便を利用する場合には別途、軽飛行機とヘリコプター便の差額につきまして追加料金が必要になる場合がございます。

※天候等の理由により、万が一、帰国日の遅延が生じた場合、ご帰国便を新たに手配する際にかかる差額はお客様の負担となりますので、予めご了承ください。

※各ロッジは収容数がかぎられ、予約システムが確立されていないため、分宿になる場合があります。

※フムデからマナン間のトレッキング(日程5日目、7日目)は馬で移動することも可能です(別料金)。ご希望の方は、お問い合わせください。